

炉・温風暖房機・ヒートポンプ冷暖房機・ボイラー・乾燥設備・給湯湯沸設備概要表

設備種別		☐ 炉 ☐ 温風暖房機 ☐ 簡易ボイラー (☐ 蒸気 ☐ 温水 ☐ 貫流) ☐ ヒートポンプ冷暖房機 ☐ 乾燥設備 ☐ 給湯湯沸設備 (真空式ボイラー等含む)
工事種別		☐ 新設 ☐ 増設 ☐ 移設 ☐ 取替え ☐ 改造 ☐ その他
設置場所		☐ _____ 階 ☐ 屋上 ☐ 屋外
設置室	構造	入力合計 ☐ 3 5 0 k W 未満 ☐ 3 5 0 k W 以上 不燃区画 [☐ 有り ☐ 無し] 壁 [☐ 耐火 ☐ 準耐火 ☐ 不燃 ☐ その他] 床 [☐ 耐火 ☐ 準耐火 ☐ 不燃 ☐ その他] 天井 [☐ 耐火 ☐ 準耐火 ☐ 不燃 ☐ その他] 開口部 [☐ 防火設備 ☐ その他] ケーブル、配管の貫通処理 (☐ 不燃材料による処理 ☐ その他) 換気 (☐ 自然換気 ☐ 機械換気 ☐ F D 付)
		壁 [☐ 不燃材料 ☐ 不燃認定材料 ☐ その他 ☐ 無し] 天井 [☐ 不燃材料 ☐ 不燃認定材料 ☐ その他 ☐ 無し]
	燃焼空気	☐ 自然吸気 給気口位置 (床面から _____ m) ☐ 給気ファン 給気ファン位置 (床面から _____ m)
	設備概要	製造社 (_____) 機器型式 (_____) 大きさ [奥行 _____ m × 幅 _____ m × 高さ _____ m] (据付面積 _____ m ²)
熱源種別		☐ 電気 ☐ 都市ガス (☐ 6 B ☐ 1 3 A) ☐ LPG ☐ まき ☐ 石炭 ☐ 灯油 ☐ 軽油 ☐ 重油 ☐ その他 (_____)
入 力		_____ k W
安全装置		☐ 炎監視装置 ☐ 空だき防止装置 ☐ 自動温度調節装置 ☐ 過熱防止装置 ☐ 停電時安全装置 ☐ 自動ガス遮断装置 ☐ 感振装置 [製造会社 (_____) 型式 (_____) 設置位置 ☐ 本体 ☐ 室内]
燃料配管		材質 (☐ 鋼管 ☐ 銅管 ☐ その他) 配管方法 (☐ 露出 ☐ 埋設 ☐ 隠ぺい)
燃 料 タ ン ク		☐ 無し ☐ 屋外 ☐ 本体内蔵 ☐ 屋内…たき口までの距離 (_____ m) メインタンク (_____ ℓ) サービスタンク (_____ ℓ)
煙 突 排 気 筒 風 道 等		排気温度 (☐ 2 6 0 ℃ 以下 ☐ 2 6 0 ℃ を超える) 風道 (☐ 有 ☐ 無 ☐ F D 付) 構造 (☐ 給排気筒 ☐ ダクト ☐ 排気筒 ☐ F D 付) 排気方式 (☐ 機械 ☐ 自然) 貫通部構造 (☐ めがね石 ☐ 金属以外の不燃材料 ☐ その他) トップ構造 [☐ 多翼型 ☐ H 型 ☐ 陣笠 ☐ ベンド ☐ ストレート ☐ エルボ 4 5 ° ☐ エルボ 9 0 ° ☐ ウォールトップ ☐ その他 (_____)]
耐震措置		機器の固定方法 ☐ アンカーボルト ☐ 溶接 ☐ その他 (_____) 機器の配管の接続方法 ☐ 溶接 ☐ ねじ接続
消火設備		☐ 消火器 ☐ 大型消火器 ☐ 不活性ガス消火設備 (☐ 固定式 ☐ 移動式) ☐ ハロゲン化物消火設備 (☐ 固定式 ☐ 移動式) ☐ 粉末消火設備 (☐ 固定式 ☐ 移動式) ☐ その他 (_____)
備 考		

※項目中□欄は、該当するものをレ印又は■でアンダーライン部分には該当する内容を記入すること。